

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2024年8月2日）

■第3版 第4刷（2023年2月10日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodoshisha.co.jp/correction/9784758113557_corrections.pdf をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第13章					
155	Q3の選択肢b	b. 細胞質ゾルのクエン酸からにアセチルCoAが生じる。	b. ミトコンドリア内でクエン酸からにアセチルCoAが生じる。		24/08/02
別冊解答					
2	第2章 A2	× d. 糖アルコールのグルシトールはアルデヒド基がカルボキシ基に酸化されており、アノマーヒドロキシ基ができない。	× d. 糖アルコールのグルシトールはアルデヒド基がヒドロキシ基に還元されており、アノマーヒドロキシ基ができない。		24/05/31
3	第2章 A4	× c. 細胞質の解糖系で生じるグルコース代謝中間体は、ホスホエノールピルビン酸とピルビン酸以外はすべてリン酸化されている（第9章参照）。	× c. 細胞質の解糖系で生じるグルコース代謝中間体は、ピルビン酸以外はすべてリン酸化されている（第9章参照）。	赤字削除	24/05/31